

## 令和三年度 埼玉県公立高校入試問題 解説

※入試問題につきましては、テレビ埼玉の番組ホームページでご確認ください。

それでは国語の授業を始めます。

まずは左記をご覧ください。皆さんはこの数字が意味するものは何か分かりますか？

# 2,737

これは令和三年度埼玉県公立高校入試の大問三「論説文」の本文の総文字数となります。  
原稿用紙に換算すると約七枚分に相当します。

過去三年間の「論説文」を調べてみると

過去3か年 埼玉県公立高校入試 国語 大問3 論説文の概要		
年度	本文の総文字数	設問数
2019年	2,791字	5問 ※うち2問は 記述問題
2020年	2,556字	
2021年	2,737字	

左記のようになっており、いずれの年度も原稿用紙に換算すると約六〜七枚分の総文字数が出題されています。また、いずれの年度も設問は五問出題されており、うち二問は記述問題が出題されました。これだけ見ても「かなり量が多いな。」という印象を持たれると思います。

ところで、皆さんはこれだけの量の問題をどのくらいの時間で読解しなければならぬ  
いかが存知ですか？

★読解時間は**約15分**



- ・読める時間は**約5分**
- ・解ける時間は**約2分**

実は、「論説文」にかけられる読解時間は約十五分、うち読める時間は約五分、設問を  
解ける時間は一問につき約二分しかないのが実情です。

「これだけの量を約十五分という短い時間の中で果たして読解することが可能なのか？」と不安に思われる方もいるかもしれませんが、大丈夫です。本日お伝えする読解法をマスターすれば「頭の中に入れなければならない文」と「頭の中に入れなくてもよい文」があることがわかり、

# 507

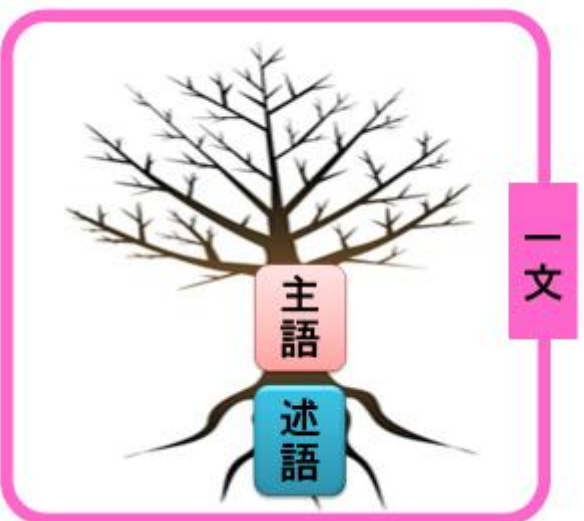
「頭の中に入れなければならない文」は五〇七字であることが分かります。さらに、驚くべきことは「頭の中に入れなければならない文」が解答にも直結してくるという事実です。

では、「頭の中に入れなければならない文」を見抜き、厳しい時間制約の中で設問に解答するにはどうすればよいのかについて、これから**三つのポイント**を挙げながら説明していきますと思います。

まず一つ目のポイントから見ていきます。「論説文」を読むときは、**一文の要点、文中で「誰が・何が」にあたる「主語」と「どうする・どんなだ・何だ」にあたる「述語」を見抜く**ように心掛けてください。ここで少し簡単なイラストを使って説明したいと思います。左記をご覧ください。今、ここに一本の木があるとします。木は「根」「幹」「葉」と主に三つの部分から成り立っていますが、この三つのうち一番重要な部分はどこだと思えますか？ それは「根」の部分となります。「根」がなければ地中の水分や栄養分を取り入れることも不可能ですし、なかったら「幹」や「葉」も支えることができません。では、次に重要な部分はどこだと思えますか？ それは「幹」の部分となります。「幹」がなければせっかく「根」が吸い上げてくれた水分や栄養分を「葉」に届けることができなくなってしまうからです。実は、このことは一文の要点を見抜くときも同じです。**一文の要点を見抜くときは、「根」の部分、つまり「述語」から探し、「述語」は文末にあることが多いため、「幹」の部分から「述語」に合った「主語」を探すように心掛けてください。**そして、「葉」の部分は一文でいうところの「修飾語」にあたるのですが、「修飾語」はあくまでも飾りに過ぎないので、まずは頭の中から取り除き、**皆さんは「主語」と「述語」だけを押さえるように心掛けてください。**

★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)を見抜く!

★入試必勝ポイント①  
一文の要点(主語・述語)を見抜く!



では、一つ例題をやってみたいと思います。  
次の一文の「主語」と「述語」（一文の要点は何だと思えますか？

★入試必勝ポイント①  
一文の要点（主語・述語）  
を見抜く！

【例題】 次の一文の主語と述語を答えなさい。

勉強することは、

困難なことを乗り越える忍

耐力や複雑な現象を解きほ

ぐす頭の使い方の習得など、

自身の成長のために役立つ。

先程お伝えしたように、まずは「述語」から探してみましよう。すると、文末の「役立つ」であることが分かりますね。

では、次に「主語」はどうでしょうか。「役立つ」に対応する「主語」を探すと、「ことは」が見つかります。

よって、この一文の「主語」は「ことは」、「述語」は「役立つ」となることが分かります……が、「ことは」「役立つ」だけですと、意味がよくわかりません。そのようなときは、**意味のまとまりとしての「主語」・「述語」(これを文法的に主部・述部ともいいます)を押さえるようにしてください。**

そこで、意味のまとまりとしての「述語」を考えると「自身の成長のために役立つ」、「主語」は「勉強すること」となることが分かります。

「勉強すること」は「**自身の成長のために役立つ**」。

今度は、意味が分かりますね。

このように、**一文節だけでは意味がいまいち分りにくい場合は意味のまとまりとしての「主語」と「述語」を見抜くように心掛けてください。**

### ★入試必勝ポイント①

**一文の要点(主語・述語)を見抜く!**

【例題】次の一文の主語と述語を答えなさい。

勉強することとは、

## 自身の成長のために役立つ。

「勉強すること」は「**自身の成長のために役立つ**」、**これがこの一文の「要点」で、筆者**

**が一番伝えたいことになります。** みなさんは、このように一文の要点である「主語」と

「述語」を見抜きながら文章を読み進める練習をしていってください。

では、次に二つ目のポイントに移りたいと思います。二つ目のポイントは「筆者の主張と具体例を見分け」ながら文章を読むことです。これも、簡単なイラストを使って説明したいと思います。

今、皆さんの目の前に二匹の魚がいたとします。皆さんはどちらの魚が食べたいですか？

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

【例題】 どちらが食べたいですか？



おそらく、ほぼ全員の方が右の魚を選ぶと思います。なぜなら食べられる部分（＝身の部分）がたくさんついているからです。もちろん、先生も「右記の場合は」右の魚を選びます。



しかし、これを「文章」に置き換えた場合、皆さんは左の魚を選んで欲しいのです。筆者は自身の主張に説得力を持たせるために、「たとえば……。」や「……のようだ。」、その他にも「固有名詞」や「数詞」などを使って「具体例」を挙げたり、「比喻」を使つてたとえたり、偉人の言葉などを「引用」したりして「補足説明」をします。そこで、この「身の部分」はあくまでも筆者の主張の「補足説明」に過ぎないので、皆さんは取りあえず頭の中から取り除き、「骨の部分」、つまり「筆者の主張」の部分だけを押さえるように心掛けてください。ちなみに、筆者の主張は「こうした」や「そのように」といった指示語の後や「だから」「しかし」「つまり」といった接続語の後、「……と思う(考える)」や「……べきだ。」などの強調表現に表れることが多いので、こちらも合わせて覚えておいてください。

文章

筆者の主張



骨

指示語  
接続語  
強調表現

具体例  
比喻  
引用



身

たとえば…。  
…のようだ。  
固有名詞  
数詞

【例題】 どちらが食べたいですか？

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

文章

筆者の主張



骨

指示語  
接続語  
強調表現

【例題】 どちらが食べたいですか？

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

では、こちらも一つ例題をやってみたいと思います。  
次の文章の「筆者の主張」は何だと思えますか？

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

【例題】 次の文章を読んで、筆者の主張を  
答えなさい。

今、地球温暖化の影響で、ロシアを中心に  
広がる永久凍土の溶解が問題視されている。  
その例の一つに病原菌やウイルスの放出が  
挙げられる。実際、二〇一六年ロシア北部  
のヤマル半島にて炭疽の集団発生が起り、  
一人の少年が命を落としているが、その原  
因は炭疽菌に感染したトナカイの死骸が永  
久凍土の溶解によって表出し、皮膚接触し  
たことから感染に至ったと考えられている。  
このことから、我々は、より一層の省エネに  
努め、地球温暖化防止を心掛けるようにす  
るべきだと考える。

では、まず一文目の要点から見ていきましょう。一文目の「述語」は何だと思えますか？一文節で考えると「いる」となりますが、意味のまとまりとして考えると「問題視されている」となります。では、「主語」は何だと思えますか？一文節で考えると「溶解が」となりますが、意味のまとまりとして考えると「永久凍土の溶解が」となります。では、次に二文目ですが、**出だしに「その例の一つに」とあるので、「ここから「具体例」が始まること**が分かります。そこで、「具体例」の部分はあくまでも「補足説明」にすぎないので、スピードを上げて読んでいきましょう。読み進めると後ろから三行目に「このことから」と直前の「具体例」をこれからまとめる目印となる「指示語」があるので、「具体例」は直前の「考えられている」までであることが分かります。そこで、「具体例」の部分は頭の中から取り除いてしましましょう。さらに、最後の一文には「べき」「考える」という筆者が強調している表現（強調表現）もあるので、**筆者の主張の文**になっていることも分かります。

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

【例題】 次の文章を読んで、筆者の主張を  
答えなさい。

永久凍土の溶解が問題視されている。

このことから、我々は、より一層の省エネに  
努め、地球温暖化防止を心掛けるようにす  
るべきだと考える。

では、最後の一文の要点を見ていきましょう。「述語」は何だと思えますか？一文節  
で考えると「考える」となりますが、これも意味のまとまりとしての「述語」を考え、  
「地球温暖化防止を心掛けるようにするべきだと考える」と捉えるようにしましょう。で  
は、「主語」は何だと思えますか？これは「我々は」という一文節のみで意味が通じる  
ので「我々は」だけで大丈夫です。

そこで、この文章の「筆者の主張」をまとめると、

★入試必勝ポイント②  
筆者の主張と具体例  
を見分ける！

【例題】 次の文章を読んで、筆者の主張を  
答えなさい。

永久凍土の溶解が問題視されている。

我々は、

地球温暖化防止を心掛けるようにす  
るべきだと考える。

「永久凍土の溶解が問題視されているので、我々は、地球温暖化防止を心掛けるように  
するべきだと考える」となります。このように「論説文」の文章を読むときは、「筆者の  
主張と具体例を見分け」ながら読み進めるように心掛けてください。

では、次に三つ目のポイントに移りたいと思います。三つのポイントは「設問の条件を正確に把握すること」です。では、こちらは今回取り扱う令和三年度埼玉県公立高校入試の大問三「論説文」の問三の設問を使って説明していきたいと思えます。

問三で問われているのは「(筆者の述べる)散歩やトレッキングとは」「何を感じ取り」  
「どのようにすること」「の二点であることが分かります。さらに、「二十字以上、三十字以内」という字数制限にも注意しましょう。

★入試必勝ポイント③  
設問の条件  
を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十字以上、三十字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

「」。

★入試必勝ポイント③  
設問の条件  
を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十字以上、三十字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

「」。

では、次に本文の確認のほうに移りたいと思います。問三で問われている傍線部③は第六段落に引かれているので、第一～第五段落は簡単なイラストを使って説明していきたいと思います。

筆者は「カヌー」や「ヨット」、「乗馬」などの「乗り物」を例に挙げ、「散歩」や「トレッキング」と比較すると自然に対する感じ方、「自然のもつ意味」が異なっていると述べていました。さらに、筆者は「散歩」や「トレッキング」そのものが「生きること」であったのではないか、とも述べています。

第一段落～第五段落のまとめ



では、先程押さえた内容を頭に入れたうえで、傍線部③が引かれている第六段落を最初から見ていきたいと思えます。もう一度確認ですが、「一文の要点(主語・述語)を見抜く」、「筆者の主張と具体例を見分ける」を意識しながら文章を読み進めていきましょう。

まず一文目ですが、出だしに「しかし」という逆接の接続語があるので、直後が筆者の主張になることが分かります。さらに、逆接の接続語は前後の内容を反対につなぐ役割があるので、「解答は傍線部③以後にあるのではないか?」と見当をつけることも出来ます。

では、一文目の要点を見ていきましょう。一文目の「述語」は何だと思えますか? 正確には「ない」だけなのですが、意味の範囲を広げて「足を前後することではない」と捉えましょう。では、「主語」は何だと思えますか? 「主語」は「散歩やトレッキングは」となります。

次に、二文目を見ていきたいと思えます……が、皆さんは気付きましたか? そうです。二文目は「具体例」ですね。しかも、「楽しめない」とあるので、筆者が考える「散歩やトレッキング」とは異なる「具体例」であることが分かります。そこで、スピードを上げて読み進めていきましょう。

次の三文目もまだ「具体例」が続きますので、スピードを上げて読み進めていきましょう。読み進めていくと、途中に「大げさに言えば」とあるので、この後に「具体例」を「大げさに言」う、つまり「まとめ」がくることが分かりますね。そこで、「具体例」は二文目から「大げさに言えば」の直前までであることが分かり、「具体例」の部分は頭の中から取り除いてみましょう。

では、三文目の要点を見ていきましょう。三文目の「述語」は何だと思えますか? 正確には「ある」だけなのですが、意味の範囲を広げて「自分を異なった存在にすることである」と捉えましょう。では、「主語」は何だと思えますか? 「主語」は先程も押さえた「散歩やトレッキングは」となります。

では、四文目を見ていきたいと思えます。一文が非常に長くて嫌になりますが、大丈夫です。一文の要点(主語・述語)を押さえれば良いのです。では、四文目の「述語」は何だと思えますか? 正確には「ある」だけですが、意味の範囲を広げて「身体と環境との即応を感じ取るものである」となります。では、「主語」は何だと思えますか? 「主語」は「散歩もトレッキングも」となります。実は、「主語」と「述語」に挟まれている文は「散歩」や「トレッキング」の「具体例」になっていたのです、頭の中から取り除いても大丈夫です(「こうした」という指示語の存在もヒントとなります)。

そこで、第六段落の内容をまとめると「散歩やトレッキングは、足を前後することではなく、自分を異なった存在にすることであり、身体と環境との即応を感じ取るものである」となります。

では、以上の内容を頭の中に入れたうえで、問三の問題を見ていきましょう。

★入試必勝ポイント③

設問の条件  
を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十文字以上、三十文字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

しかし、<sup>③</sup>散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。 **大きさ**

例えば、自分を異なった存在にすることである。散歩もトレッキングも、**こうした身体と環境との即応を感じ取るものである。**

「J」。

問三の設問の条件をもう一度確認すると、問三で問われていたのは、散歩やトレッキングとは「何を感じ取り」「どのようにすること」「**二点**」でしたね。そこで、右図の四角内を見てみると、二文目に「自分を異なった存在にすることである」「三文目に「身体と環境の即応を感じ取るものである」とあるので、**この二箇所を解答に盛り込めばよいというのが分かります。**そこで、一文目は問三の解答には無関係であることが分かるので、削除します。



★入試必勝ポイント③

設問の条件

を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十文字以上、三十文字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

る。
自分を異なった存在にすることである。
身体と環境との即応を感じ取るものである。

こうして解答の材料は見つかったのですが、まだ安心してはいけません。問三で問われていたのは①「何を感じ取り」、②「どのようにすること」というように①↓②の順番で聞かれていますね？ 本文に出てきた順番どおりにつなげると順番が逆になってしま

うので、**解答を作成するときは順番を逆にしてつなげるようにしましょう。**

★入試必勝ポイント③

設問の条件

を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十文字以上、三十文字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

身体と環境との即応を感じ取る

自分を異なった存在にする

1.1.1

★入試必勝ポイント③

設問の条件

を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十文字以上、三十文字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

身体と環境との即応を感じ取り、

自分を異なった存在にする

1.1.1

では、解答を作成していきます。右図(上)を見てもらっても分かるように、そのまま書いてしまうと一文目と二文目のつながりがおかしくなることが分かります。そこで、右図(下)のように「一文目の文末を「り、」と変えらるとつながりがスムーズになるので、これをもって解答したいと思います。

★入試必勝ポイント③

設問の条件  
を正確に把握する！

問3 ③ 散歩やトレッキングは、ただ足を前後することではない。とありますが、筆者の述べる散歩やトレッキングとは、何を感じ取り、どのようにすることですか。次の空欄にあてはまる内容を、二十文字以上、三十文字以内で書きなさい。(6点)

特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら、

身体と環境との即応を感じ取り、

自分を異なった存在にする

(二十七字)

「J」。

そこで、問三の解答は「特定の目的をもたずに、何かとの出会いを求めて歩きながら」(身体と環境との即応を感じ取り、自分を異なった存在にする)こと。(二十七字)「となります」。

では、最後に本日のポイントをおさらいしましょう。

## ★入試必勝ポイント

- ① 一文の要点（主語・述語）を見抜く！
- ② 筆者の主張と具体例を見分ける！
- ③ 設問の条件を正確に把握する！

本日のポイントの一つ目は、「一文の要点（主語・述語）を見抜く！」ように心掛けてください。

次に二つ目は、「論説文」を読むときは「筆者の主張と具体例を見分ける！」ように心掛けてください。

最後、三つめは「設問の条件を正確に把握する！」ように心掛けてください。

では、本日の国語の授業はこれで終わりにします。ありがとうございました。